

基本目標3 「潤い・快適・活力」のにぎわいのまち

分野別政策8 豊かな自然と暮らしが調和する環境づくり

施策 No. 22 循環型社会の構築

10年後のめざす姿 市民一人ひとりが資源の大切さを理解し、地域全体でごみの減量化や資源の有効活用を進めるとともに、自然エネルギーへの転換・活用など、循環型社会の構築に向けた取り組みが進んでいます。

住みよさ指標	当初	単位	実績値の推移					目標値(H37)	評価	
			H28	H29	H30	H31	H32			
1 「リサイクル施策など循環型社会への取り組み」に関する市民満足度	20.0	%	目標値	21.0	23.0			25.0	30.0	↓
			実績値	17.5						
2 リサイクル率	25.8	%	目標値	27.2	28.0			30.5	30.5	↓
			実績値	24.4						
3 市民1人1日あたりのごみの排出量	885	g	目標値	880	877			865	865	○
			実績値	877						
4 市施設における自然エネルギー定格出力	608	Kw/年	目標値	608	608			608	608	○
			実績値	911						
5 市施設のエネルギー使用量	214,081	GJ	目標値	211,940	209,799			203,377	192,673	↓
			実績値	220,961						

総合評価	住みよさ指標の状況
C	<p>ごみの適正処理と3Rの推進に取り組んだことにより、ごみの排出量は減少したものの、リサイクル率は目標値を達成できていない。</p> <p>地球温暖化対策の推進に取り組んだことにより、指標の目標値を概ね達成し、めざす姿実現に向け順調に進んでいる。</p>

施策を構成する事業の状況
<p>環境推進事業、ごみ減量化・資源化推進事業、ごみ収集・処理事業等を実施しているが、リサイクル率が減少傾向にある。</p> <p>環境基本計画に基づき、地球温暖化防止に向けたエネルギー使用量の削減及び再生可能エネルギーの導入を進めている。</p>

これまでの取り組み	<p>ごみシール制及び分別収集により、ごみの減量化、資源化に努めている。また、もったいない市やぐるぐるマルシェなど、イベントによるリユース事業(家庭で不要となった食器や子ども服の回収等)を実施し3Rの推進に努めている。</p> <p>地域の地球温暖化対策を始め、自然エネルギー等への転換・活用について市民の意識高揚を図るため、まずは市施設から発生する温室効果ガス排出量の削減対策や省エネルギー対策、市施設への再生可能エネルギーの導入を進めている。</p>
課題(めざす姿との差)	<p>一般廃棄物(ごみ)処理基本計画(改訂版)及び同実施計画に基づき、各種施策に取り組んでいるが、リサイクル率が目標値を下回っている。より一層のごみの減量化・資源化を推進するため、効果的な啓発及び情報発信や新たなリサイクル施策の研究が必要である。</p> <p>また、今後は、市民と市が共に、徹底した省エネルギーの推進や更なる再生可能エネルギーの導入、ライフスタイルやワークスタイルの変革など、地域資源等を活かした積極的な地球温暖化対策を実行する必要がある。</p>
今後の方向性	<p>引き続き3R施策の推進を図り、リサイクル率の向上及び市民1人1日あたりのごみの排出量の減少を目指す。</p> <p>引き続き地球温暖化対策の推進に取り組み、太陽光発電など再生可能エネルギーの導入やバイオマスの利用促進により、限りあるエネルギーを有効に使うことで低炭素社会の構築を目指す。</p>